



いっせいで

祭、ガガシ

十月最初の日曜日、天気も回復して、かかし祭りが開催され、いつもは静かな名頃地区も、にぎやかな一日でした。時に今年の祭りは、ひかひかしいアイデアが見られ、より一層の盛り上がり。その一つが「かかしの後リじめ」です。旧名頃小への橋の一部が壊れ、修復は

匠に欠し振りに帰るまでに「平家落人劇」の出演の旨もこのかかし祭りに参加して下さり、会場がにぎやかでした。さうで、小さな所がイベントでござることもまあいいと、うまがあらりてりてりてりてり、よけいに「ナイス」でした。最後の公演に、こんやアイデアがござるのあれば、続けていけないうらうかとおもつてりてりてり。会場では、地元の人の手作りの食べ物、祖右さばどけいはびく、マイタケ、餅、焼き鳥など、自分達で運営するイベントです。この次は、こんや事もあるといひあめと期待のこころイベントの一つではあります。ぼんどのイベントが、イベントそのものを丸ごとひいて、地元の人が手宛めさしこる感も強いのか、小さんも地元の旨さの身持が伝わるイベントは、いっせいで。何事でも、始まりがあるし、終わりが必ずあるとはいへ、祖右よりも後からスタートしたイベントが、大きくはつらつと続け、開催されていると、どうしてか、という気が強くなることきこしてつう。次に繁がる何かが見えるといひますが、

18.11.No257  
発行 市岡日出夫  
登載 0883-88-5292  
つて、かかしの三世代が、皆んなにサポートされ、後リじめ、かかし祭りのスタートです。そして、二めは、京と地



三山嶺を守る会  
三山嶺を中心に様々な活動をして、潤くしている「三山嶺を守る会」が今年も、久保地を、岡本さんの畑でそば刈りをしまふよ。今年も天候の悪縁があまり期待のこまひい状況下でござるが、腫りいのも我慢して刈りました。地域の旨さのサポートもあり、無事刈り終え、二日目はそば打ち体験をし、昼に食べました。旨さ、こまひい様です。何人か、知りあひもいて、楽しんで参加出来、いい日でしたよ。

そば刈り

三山嶺を守る会  
今年も天候の悪縁があまり期待のこまひい状況下でござるが、腫りいのも我慢して刈りました。地域の旨さのサポートもあり、無事刈り終え、二日目はそば打ち体験をし、昼に食べました。旨さ、こまひい様です。何人か、知りあひもいて、楽しんで参加出来、いい日でしたよ。

おれ、ハンコウケル